

平成29年度町政地区懇談会

町では、平成29年10月・11月に、開催のご希望があった区にお伺いし、直接町民の皆さまと意見交換する「町政地区懇談会」を開催しました。懇談会では、町から予算概要や重点施策などの説明、「魅力いっぱい野木町の宝物」と題した野木町の魅力をまとめたスライドの上映後、皆さまから各地区で抱えている問題や町への要望等をお聞きしました。今月号では各地区からいただいたご意見の一部(要旨)をご紹介します。なお、ご紹介する内容は、懇談会終了後に各自治会にて回覧をしていただきました。

川田区(29年10月6日)

【質問】

工業団地の土地について、販売の基準が厳しすぎるので売れないと聞いている。もう少し緩和したほうがいいのでは。

《回答》

町が開発した野木東工業団地隣接地の新開山工業地区では操業開始され、野木第二工業団地第一期予約分譲地につきましても、土地売買予約契約が締結されておりますので、売れないという状況では無いと考えております。

しかし、町で作成した企業誘致パンフレットに掲載をご協力いただいている個人所有地二箇所の候補地につきましては、いずれも市

街化調整区域であり、県の開発許可の運用基準で、製薬、電子、光学など先端的業種に限って特別に立地が認められる地区となっており、ますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

【質問】

地域おこし協力隊について、どういう目的で委嘱され、どういことをやるのか。

《回答》

地域おこし協力隊は、米麦や施設園芸など野木町の農業に関心のある方に、首都圏から野木町に来ていただく、野木町の農業を見て、地域の方と一緒に勉強していただき、町内外に情報を発信することを目的としており、一名の女性の方を平成29年8月より委嘱し

ています。現在、主に「ファームわか」で活動しています。その状況については、新聞という形で、町のHPにも掲載しておりますのでご覧いただければと思います。町のイベントやいろいろな地域のイベントにも積極的に参加していただき、野木町の農業・イベントなどについてSNS等で発信してもらえればと考えております。



南赤塚区(29年10月30日)

【質問】

防災行政無線は、現在町で何箇所あるのか。南赤塚地区は、林や小学校にさえぎられて聞こえづらい。何箇所も付けてもハウリングを起こし聞こえないこともあるので、状況を見ながら細かい対応が必要だと思うがどうか。また、最終的に防災行政無線の設置はあと何年かかるのか。

《回答》

現在、町内の防災行政無線の設置は12箇所になります。順次増やしていき、最終的には町全体で39箇所設置する予定です。全地域にある程度設置した後には、細かく設置していきます。また、設置されている地区でも、現在の住宅は密閉されているので家の中に入ると聞こえにくいと思われます。それを補完するために町でお願いしているのは、放送した内容を携帯電話に配信する野木町防災たよりの登録です。なお、防災行政無線が聞こえにくいときは窓を開けていただくようお願いいたします。

防災行政無線の設置には、最低でも5、6年がかかります。専門家に設計を委託して図面を作成しております。整備には時間がかかりますがよろしくお願いたします。

【質問】

デマンドタクシーについて、時間と場所を決めて定期的に走るコミュニティバスはできないのか。高齢者が免許証を返納すると、将来的に利用範囲が多くなると思う。



《回答》

デマンドタクシーの良いところはドア・ツー・ドアで、各お宅のドアまで迎えに行き、目的地のドアまで送り届けることです。現在の町の方針としては、定時に町内を回る巡回バスではなく、ドア・ツー・ドアのデマンドタクシーを進めていく考えであります。しかし、巡回バスを設けてほしいという住民の方の考えもありますので、野木町だけの巡回バスでは維持や管理に費用がかかりますが、古河市や小山市の巡回バスに野木町に乗り入れてもらうなどという方法もありますので、今後検討していきたいと思えます。

また、高齢者の方で免許証を返納していただいた方には、一回に限り20枚綴りのデマンドタクシー利用券を差し上げておりますので、その際には町都市整備課へお越しください。



新橋区(29年11月4日)

【質問】

今回の全町避難訓練では、赤ちゃん連れや体が不自由な方が避難してきた時の対応など、次のステップを検討することが重要だと思ふ。訓練でも、町職員、消防団等との情報連携を視野に入れてもらいたい。住民としてもお手伝いのリクエストがあれば協力する。

《回答》

全町避難訓練で立ち上げました災害対策本部については、情報の伝達はある程度うまくいっていましたが、避難所については、訓練ではかなりの人数を配分していましたが、実際の避難では職員数が少ないこともあり人数がそれ程配分できないと思われまふ。避難所は、地域の皆様や役員の方、自主防災組織の方と一緒に良い運営ができればと思つております。

また、平成27年の大雨のときの一番の反省材料としても「早めの避難」ですので、これも含めましてより良い避難訓練について考えていきたいと思つております。

【質問】

ルール違反のごみとしてシール

を貼られて置かれたままになっているごみが多い。ごみ当番の方が自分の家に持ち帰つて、またごみの出せるときに出しているのが現状である。できたら町で出しているごみの分別方法の一覧を見直してもらいたい。

《回答》

現在、収集ができないごみを含めて、大きく分けて7分類あります。これを3分類や4分類にすることはできません。確かに、ごみの種類が多いため皆様悩まれることと思ひます。平成28年に容器包装のリサイクルが始まつた際に、50音別の早見表を各ご家庭に配布してありますので、そちらで確認し、ごみを出していただければと思ひます。ごみの種類が多いので、全てが50音別の早見表に載つておりませんが、その際にはお手数ですが、町生活環境課にお問い合わせをお願ひいたします。また、ご質問がありましたら、その内容を広報紙の「シリーズ野木町のごみ処理」に随時掲載したいと思ひます。



潤島区(29年11月10日)

【質問】

とちぎテレビの難視聴対策について、具体的な今の現状と進捗状況、見えるようになる目標年度は。

《回答》

とちぎテレビの難視聴ですが、現在とちぎテレビと協議をしております。改善策としては、とちぎテレビで、旧岩舟町の三疊山に新たに電波塔を整備していただきまして、平成30年度中には改善する予定で進めております。町負担分もありますので、予算に計上いたします。電波塔の整備が終わりましたら、各お宅のアンテナを旧岩舟町の方へ向けていただく必要がありますので、その際には、町からお知らせいたしますのでよろしくお願ひいたします。

【質問】

東北線西側の道路について、東北線沿いの道路に関しては、東北線に雨水が入らないように反対側に勾配をつけて道路をつくるので、協力してくれた人の土地に雨水が入つてしまふ。側溝ではなくても農業用のU字溝でいいので、畑が水浸しにならないように排水対策を検討してもらいたい。

《回答》

JRの側道、潤島63号線ですが、皆さまにご協力をいただきまして完成いたしました。用地買収をした幅が今の道路の幅になっており、道路の外側に排水路を整備することになりますと、その部分の用地買収をして放流先を考える必要があります。再度排水関係を考え直す必要がありますので、長期的な目で見ていただきまして検討していきたいと思っております。

友沼区(29年11月15日)

【質問】

工二スホール東側用水路に、自転車やタイヤ等のごみが捨てられていてひどい惨状である。町から土地改良区に働きかけ、きれいな用水路にしてほしい。



《回答》

水路は小山水用土地改良区11区の管理になります。町からも適切な管理を役員さんに話してあります。現場も確認してきました。大きな物の回収などは町に相談して

もらうこともありますが、まずは地区委員さんや11区の役員さんに相談していただき、できるだけ皆さんで協力して管理していただきますようお願いいたします。

【質問】

自治基本条例の第2条第2項に、「町は、条例、規則等の制定及び改廃に当たっては、この条例の趣旨に基づき整合性を図らなければならない」とあるが、自治基本条例は国でいえば憲法にあたるようなものと考えてよいか。また、自治基本条例は、町民の考え方や行動の方向性のある程度決めていくといった大きな力を持っているものに対して、整合性が図られているかをチェックする部門、システムを作ることが必要なのでは。

《回答》

自治基本条例は、国という憲法のように「最高規範」というかたちではなく、あくまでも、まちづくりを進めるうえで、中心となる条例であり、他の条例との間に上下関係があるものではありません。また、条例等を制定・改廃する場合は、法規関係を担当する総務課庶務文書係が内容を審査することになっていきます。そこで対応しきれない場合は、県の行政担当に相談し、問題がないかどうかチェック

クを受けています。

丸林西区(29年11月25日)

【質問】

馬場公園の落ち葉が多くて困っている。定期的に落ち葉の回収をしてほしい。また、街路樹の落ち葉が落ちて民家の玄関先に入ってきてしまう。できれば落ち葉の落ちる前に伐採をやってほしい。

《回答》

町の公園については、自治会の方がとても一生懸命にやってくださっており、町としてもできる限りのことはやりたいと思っております。しかし、町内には52公園あり、全ての公園を月1回きれいにすることは難しいと思われまます。町では、平成30年度から「公園の長寿命化計画」を検討していく予定です。現在18公園を調査しており、どのような公園にリニューアルしていけば良いか、植栽の検討も併せて考えていきますのでご理解の程よろしくお願ひいたします。

街路樹については、「緑の再生基本計画」を平成30年度から見直しをしていく予定です。その中で、街路樹に適した木を植えていくなど考えていきたいと思っております。

【質問】

線路をはさんで東と西に町営の駐輪場があるが、冬になると強風のために自転車倒れてみつももない光景になる。固定金具を設置すればすむこと。たいした経費はかからないのでは。間々田駅や古河駅周辺の市営の駐輪場にはあるが、ないのは野木町だけである。電車の利用者のためにも固定金具を設置してほしい。

《回答》

野木町の駐輪場は無料ですが、間々田や古河市につきましては有料で管理している状況です。今後、今のまま無料がいいのか、有料にして管理していくのがいいのか検討しなくてはいけないと思います。現在、駐輪場の自転車については、定期的にシルバー人材センターにお願いして、自転車の整理等も含めて委託しております。固定金具については、経費の問題等も研究したなかで、やるべきかどうか検討させていただきます。よろしくお願いいたします。

